

平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月11日

上場取引所 東

上場会社名 バーチャレクス・コンサルティング株式会社
 コード番号 6193 URL <http://www.virtualex.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月11日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 丸山 栄樹

(氏名) 黒田 勝

TEL 03-3578-5300

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	1,921	—	83	—	81	—	53	—
28年3月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 53百万円 (—%) 28年3月期第2四半期 一百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	19.16	18.86
28年3月期第2四半期	—	—

当社は第2四半期の業績開示を平成29年3月期から行っているため、平成28年3月期第2四半期の業績、対前年同四半期増減率及び平成29年3月期第2四半期の対前年同四半期増減率を記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	1,459	—	843	—	—	57.8
28年3月期	1,375	—	669	—	—	48.7

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 843百万円 28年3月期 一百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年 3月期の連結業績予想(平成28年 4月 1日～平成29年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,231	9.5	353	37.2	350	39.6	229	△9.7	80.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期2Q	2,865,000 株	28年3月期	2,745,000 株
29年3月期2Q	— 株	28年3月期	— 株
29年3月期2Q	2,811,229 株	28年3月期2Q	— 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績予想数値につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因によって大きく異なる場合があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- ・決算説明資料は、TDnetで11月11日に開示し、当社ホームページに掲載します。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の各種政策の効果もあり、企業収益や雇用情勢に改善が見られ、緩やかな回復基調が続きました。一方、個人消費の回復は弱く、中国やアジア新興国、資源国等の景気減速や円高の進行による輸出環境の悪化、英国のEU離脱問題に伴う世界経済への影響も懸念され、米国大統領選の行方や中東の情勢不安など依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況の下、当社グループはクライアント企業がより戦略的で有効な顧客接点（チャンネル）を構築し、企業価値を最大化しうる顧客対応が実現できるよう当社の持つコンサルティング、IT、アウトソーシングのノウハウを活用したトータルな支援を行ってきました。

また、当第2四半期連結累計期間においては、東証マザーズ上場に伴う各費用等の発生に伴い、販売費及び一般管理費の一時的な支出が発生しました。

その結果、当2四半期連結累計期間の業績は、売上高1,921,505千円、営業利益83,318千円、経常利益81,213千円、親会社株主に帰属する四半期純利益53,858千円となりました。

セグメントの業績は以下のとおりです。

IT&コンサルティング事業では、ストックビジネスであるCRM ITサービスは堅調に推移し、コンサルティングサービスは着実に新規案件を獲得するとともにプロジェクト採算性の向上に努めてきました。その結果売上高は842,802千円、セグメント利益は254,250千円となりました。

アウトソーシング事業では、既存顧客案件が堅調に推移しながら新規案件も始まり、売上高は1,078,703千円、セグメント利益は189,212千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ83,569千円増加し、1,459,080千円となりました。これは主に、売掛金が90,161千円増加したことによるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ90,179千円減少し、615,594千円となりました。これは主に短期借入金が90,000千円減少したことによるものです。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、親会社株主に帰属する四半期純利益53,858千円を計上したことに伴い、利益剰余金が前連結会計年度末に比べ53,858千円増加し、マザーズ市場上場に伴う公募増資により資本金及び資本準備金がそれぞれ60,168千円増加したことから、843,486千円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成28年6月23日の「平成28年3月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益へは影響ありません。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	252,648	287,953
売掛金	471,850	562,012
開発事業未収入金	40,953	40,590
仕掛品	12,729	7,527
前払費用	27,543	30,037
繰延税金資産	109,104	109,104
その他	2,791	1,193
流動資産合計	917,621	1,038,420
固定資産		
有形固定資産	82,060	73,574
無形固定資産		
ソフトウェア	261,486	231,756
その他	3,820	4,653
無形固定資産合計	265,307	236,410
投資その他の資産	110,521	110,675
固定資産合計	457,889	420,660
資産合計	1,375,511	1,459,080
負債の部		
流動負債		
買掛金	27,294	52,518
短期借入金	100,000	10,000
1年内返済予定の長期借入金	33,336	33,336
未払金	227,279	237,800
未払法人税等	54,076	38,185
賞与引当金	106,995	85,925
その他	109,905	132,835
流動負債合計	658,887	590,600
固定負債		
長期借入金	41,662	24,994
その他	5,224	—
固定負債合計	46,886	24,994
負債合計	705,774	615,594

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	493,783	553,951
資本剰余金	454,776	514,944
利益剰余金	△279,451	△225,592
株主資本合計	669,107	843,302
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	628	184
その他の包括利益累計額合計	628	184
純資産合計	669,736	843,486
負債純資産合計	1,375,511	1,459,080

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	1,921,505
売上原価	1,460,513
売上総利益	460,992
販売費及び一般管理費	※ 377,673
営業利益	83,318
営業外収益	
受取利息及び配当金	6
その他	63
営業外収益合計	69
営業外費用	
支払利息	795
株式交付費	781
支払手数料	596
営業外費用合計	2,174
経常利益	81,213
税金等調整前四半期純利益	81,213
法人税等	27,355
四半期純利益	53,858
非支配株主に帰属する四半期純利益	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	53,858

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益	53,858
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	△444
その他の包括利益合計	△444
四半期包括利益	53,413
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	53,413
非支配株主に係る四半期包括利益	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	81,213
減価償却費	57,468
資産除去費用	2,901
賞与引当金の増減額(△は減少)	△21,070
受取利息及び受取配当金	△6
支払利息	795
支払手数料	596
株式交付費	781
売上債権の増減額(△は増加)	△90,161
開発事業未収入金の増減額(△は増加)	362
たな卸資産の増減額(△は増加)	5,201
前払費用の増減額(△は増加)	△2,493
仕入債務の増減額(△は減少)	37,623
未払費用の増減額(△は減少)	△3,722
未払消費税等の増減額(△は減少)	3,059
前受金の増減額(△は減少)	19,783
預り金の増減額(△は減少)	4,840
その他	1,500
小計	98,674
利息及び配当金の受取額	6
利息の支払額	△796
手数料の支払額	△596
法人税等の支払額	△46,194
営業活動によるキャッシュ・フロー	51,094
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△3,063
無形固定資産の取得による支出	△18,901
投資有価証券の取得による支出	△305
保険積立金の積立による支出	△149
投資活動によるキャッシュ・フロー	△22,420
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(△は減少)	△90,000
長期借入金の返済による支出	△16,668
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△6,254
株式の発行による収入	119,554
財務活動によるキャッシュ・フロー	6,631
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	35,305
現金及び現金同等物の期首残高	252,648
現金及び現金同等物の四半期末残高	※ 287,953

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	IT&コンサルティング事業	アウトソーシング事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	842,802	1,078,703	1,921,505	1,921,505
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	842,802	1,078,703	1,921,505	1,921,505
セグメント利益	254,250	189,212	443,462	443,462

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	443,462
全社費用(注)	△360,144
四半期連結損益計算書の営業利益	83,318

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。